

# 三重県交通安全研修センターにて研修



近年、三重県における年間の交通事故死亡者数は、86名から90名弱だそうです。私たちの職場では、車両を使って利用者様を送迎する機会が頻繁にあります。各施設の委員会が主となり、日頃からシートベルトの着用点検や運転中の携帯チェック、踏切や危険場所での一旦停止など交通事故予防に全力をあげて取り組んでいます。その一環として毎年行われているのが、交通安全研修センターでの研修です。ここではシミュレーターの機器を使って運転してもらい、危険判断能力やとっさのハンドル操作など12項目からなる診断結果が細かく出ます。そのほか、俊敏性や瞬間記憶、視野、動体視力の測定もすることができ、自分が運転する時に注意すべきことが分かります。

屋外では、スキッドコースでアンチロックブレーキシステム（ABS）の効果を実車で体験することができ、その違いに皆さん驚いていました。最終の時間あたりにはエアバッグの発動体験もすることができ、貴重な体験になりました。発動時に大きな爆発音が出ます！それ以前に、エアバッグを発動させるような運転は決してしないようにしましょう！！



三重県交通安全研修センター  
ゆるキャラ みまも

